

宗像市議会
議長 花田 鷹人 様

予算第1特別委員会
委員長 伊達 正信

委員会審査報告書

本委員会に付託された事件の審査結果を報告します。

記

第45号議案 令和2年度宗像市一般会計補正予算（第1号）について

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ104億1,006万5千円を増額し、452億4,302万2千円とする。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

新型コロナウイルス感染症に係る緊急支援対策として、国の特別定額給付金給付事業及び本市独自の経済環境悪化防止・市民の生活不安軽減のための緊急支援対策に係る予算を計上する。

1 国の補正予算に伴い、特別定額給付金給付事業に係る経費98億9,156万5千円を増額する。

2 財政調整基金5億1,850万円を繰り入れ、市独自の緊急支援対策に係る経費を計上する。

(1) 緊急経済支援事業費の増額（4億8,750万円）

市内事業者への緊急支援対策として、市内に店舗がある小規模事業者に対し、令和2年2月から5月までのいずれかの月の売り上げが前年の同月と比較して15%以上減少した場合、一律30万円の支援金を給付するほか、専門家による資金繰り・経営相談窓口の設置期間の延長、デリバリーの導入など経営革新を行う飲食店への助成等を行う。

(2) 緊急雇用創出事業費の増額（3,100万円）

離職者や内定取り消し者等の緊急雇用対策として、会計年度任用職員等を30人採用する。

【意見】

(賛成意見)

- ・今回の経済支援対策は大変評価できるが、学校の休校措置が続く中、子育て世帯に精神的、経済的影響が出ていると言われており支援が必要と考える。福津市では学校給食を納入する地元農家のコメを買い取り、児童に配るなどの対策を行っており、本市においても市民の声をしっかり聞き、生活支援対策を早急に実施してほしい。また、市民にわかりやすい情報の提供について、タイムリーな情報を伝えるためホームページを充実させ、見やすく必要な情報が取り出しやすい工夫、見直しを要望する。
- ・国の特別定額給付金や本市の経済対策においては、手続きの簡素化、申請漏れのないきめ細か

な対応が必要となると考える。経済的支援をいち早く英断したことは評価するが、医療制度の崩壊は他人事ではなく、和歌山県では医師会との連携による徹底した封じ込めが行われた事例等もあることから、本市においても宗像医師会、福津市と協議し、市民が安心できる医療体制を県下に先駆けて構築することができると思う。行政が全面的に支えることで、医療関係者が安心して医療に従事できる体制を整備し、この事態を乗り切っていかなければならないと考える。

- 今回の経済支援対策を高く評価するが、一般市民向けの緊急対策が盛り込まれていないと考える。市民の中には家賃や電気、水道等のライフラインに係る支払いが滞り、生活が成り立たない状況が発生すると危惧される。このような中、上下水道料金の無料化等は市民に対する大きな支援となると考えられ検討を要望する。また、ひとり親世帯への支援についても喫緊の課題であり、早急な支援策を検討してほしい。また、教育についてはオンライン授業等の導入にスピード感を持って取り組んでほしい。
- このままの状況では多くの店舗がつぶれてしまうのではないかとこの声聞こえる中、そのような不安の払拭にも今回の経済支援対策は寄与すると期待している。今後はここに盛り込まれていない学校や福祉等における対策が必要となってくると考えており、今回の対策を基盤にさらに拡大し、宗像市はよくやったと言われるよう今後の財政支援を行ってほしい。

【審査結果】

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。